

第340回

日文研フォーラム

講師◎青木 信夫

天津大学建築学院(中国)教授／日文研外国人研究員

中国における文化遺産保護活動の15年

コメンテーター◎劉 建輝

日文研教授

司会◎光平 有希
日文研特任助教

2021年9月14日(火)

18時30分～20時30分(開場18時10分頃)

ハートピア京都 3階大会議室

入場無料

申込要・定員 50名(抽選による)

International Research Center for Japanese Studies
The 340th Nichibunken Forum

主催:大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター

※今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、中止する場合がございます。最新情報は、日文研WEBサイトをご確認ください。



日文研フォーラム

中国における文化遺産保護活動の15年
Fifteen Years of Cultural Heritage Conservation Activities in China

2006年、中国・天津大学建築学院の教授として招へいを受け、現在に至るまで継続的に中国における文化遺産の保護・修復に関わる諸活動を展開してきました。赴任の目的は、大きく3つありました。1つ目は、文化遺産保護のための研究センターを設置・運営し、恒常的な研究基盤を作ること。2つ目は、実際の文化遺産の保護・修復事業に取り組むこと。3つ目は、文化遺産の保護・修復・活用を担う専門教育のための教育プログラムの構築にあります。本発表では、中国における文化遺産保護活動の15年と題し、その具体的内容を紹介していきます。

講師 **青木 信夫** 天津大学建築学院(中国) 教授/日文研 外国人研究員



1996年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了、博士(工学)。1996年清華大学建築学院訪問学者、1997年慶應義塾大学環境情報学部助手(現・助教)などを経て、2006年より現職の天津大学建築学院教授、2008年同大学中国文化遺産保護国際研究センター主任(センター長)。2017年より香港中文大学建築学院兼職教授。2021年4月より国際日本文化研究センター外国人研究員を併任。専門分野は、文化財保存、都市・建築史。最新刊に、共編著『中国城市近現代工業遺産保護体系研究』(全5巻、2021)がある。2019年中国政府友誼奨(褒章)。

コメンテーター **劉 建輝** 日文研 教授




中国・遼寧大学外国語学部日本語科卒業。神戸大学大学院文化科学研究科博士課程修了。中国・南開大学外国語文学部日本語言語文学科助教授、北京大学比較文学・比較文化研究所助教授を経て、1999年4月より国際日本文化研究センター助教授就任。2013年4月より同教授。専門分野は、日中比較文学、比較文化。主な著作に、『日中二百年——支え合う近代』(武田ランダムハウスジャパン、2012)、『増補・魔都上海——日本知識人の「近代」体験』(ちくま学芸文庫、筑摩書房、2010)などがある。

日文研
フォーラムとは

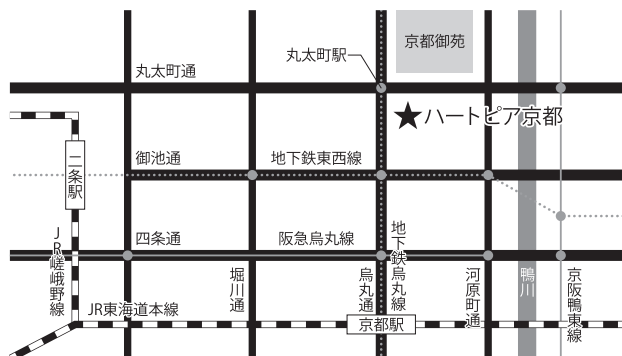
国際日本文化研究センター(日文研)に滞在中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介し、交流の一助となることを主な目的とする催しです。1987年の設立以来、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

申込方法

- ①催し物名 ②氏名(フリガナ) ③郵便番号・住所 ④電話番号(日中ご連絡がとれるもの)を明記のうえ、メールまたはハガキにてお申込ください。申込者多数の場合は、抽選を行います。
 - 申込期日は 令和3年8月18日(水) 正午必着
 - 結果は当落にかかわらず 8月30日頃ハガキにてお知らせいたします。
 - メール1通またはハガキ1枚につき1名のみ応募できます。複数名でのお申込は無効となります。
- メールの場合: forum@nichibun.ac.jp 
- ハガキの場合:
〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2
国際日本文化研究センター研究協力課「日文研フォーラム」担当宛

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課
〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2
TEL: 075-335-2046 <http://www.nichibun.ac.jp/>



京都府立総合社会福祉会館 **ハートピア京都**

【アクセス】

- 京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車5番出口(地下鉄連絡通路にて直結)
- 京都市バス、京都バス、JRバス「烏丸丸太町」バス停下車